

地域の空き家問題の担い手「エリアコンダクター（※）育成事業」

（NPO法人兵庫空き家相談センター）

課題と目的	川西市は全国に先駆けて民間企業主導によって開発された郊外型ニュータウン（多田グリーンハイツ、大和団地及び清和台などの大規模住宅団地）を数多く抱えており、開発から約半世紀を迎えたニュータウンは急激に高齢化が進行している。それに伴い増加する空き家問題解決の担い手として、地域住民に研修を実施し、「空き家対策ナビゲーター（※エリアコンダクターより改称）」として養成する。
取組内容	①座学及び実習等による研修の実施②自治会との協力体制の構築
成果	①研修プログラム（独自教材）②相談員マニュアル（案）

空き家の抱える問題は様々。

- ・景観や防犯など地域で取り組む課題
 - ・特定空家等で指導勧告が必要なもの
 - ・認知症や相続、売却や管理について...
- 必要なサポートを相談者とともに考え、解決に導くのが「空き家対策ナビゲーター」です。



48名の受講生。その年齢や経歴は様々ですが、「空き家問題を何とかしたい」という思いは共通していました。



座学を10科目・空き家見学の実習2回実施。他にも公開講演会など計27.5時間の講義を実施し、46名が修了しました。